医薬基盤・健康・栄養研究所―ロシア連邦ピロゴフ名称国立研究医科大学

小児臨床科学研究所学術研究交流協定・第１回会議、および、

日露二国間交流事業共同研究（JSPS-RFBR）第１回会議

日時、会場：　2015年6月12日：13:00～17:00、医薬基盤研究所大会議室

**第１部：**　医薬基盤・健康・栄養研究所―ロシア連邦国立研究医科大学学術研究交流協定

第１回会議　13:00～14:10

　　　司会進行：　野村大成（医薬基盤・健康・栄養研究所・プロジェクトリーダー）

　　　　　　　　Liudmila Saakyan（ロシア連邦国営放送会社「スプートニク」（旧モスクワ放送）日本課・コラムニスト

　　講演１：　米田悦啓（国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所　理事長）

　　　　　　「医薬基盤・健康・栄養研究所；アカデミア発創薬に向けた基盤研の取組」

　　講演２：　Larisa Baleva（ロシア連邦小児放射線防護研究センター所長）

　　　　　　「ロシア連邦小児放射線防護研究センターの設立の沿革と調査研究課題」

14:10-14:30　休憩

**第２部：**　日露二国間交流事業（日本学術振興会―ロシア連邦基礎研究基金）共同研究

　　「低線量被ばく両親の子孫におけるがん発生過程での遺伝的不安定性と遺伝子発現の変化」

　第1回会議　14:30-17:00

　講演1：「共同研究の趣旨；放射線の次世代への健康影響：マウスからヒトへ」

　　　　　　　　野村大成（二国間交流事業共同研究日本側　代表）

　講演2：「ロシア放射能汚染地域に住む子供たちの健康状態」

　　　　　　　　Larisa Baleva（二国間交流事業共同研究ロシア側　代表）

講演3：「放射能汚染地域住民の子孫における臨床・細胞遺伝学的研究」

　　　　　　　　Alla Sipyagina（ロシア連邦小児放射線防護研究センター副所長）

　講演4：「広島原爆２世における健康障害ー白血病」　鎌田七男（広島原爆被爆者援護事業団・理事長、広島大学名誉教授）

　講演5：「福島原発被災雄牛における継世代影響評価の試み」　福本　学（日本放射線影響学会会長、東北大学教授）

質疑応答

懇親会　17:30-19:30　５階ラウンジ

（夕食会と自由討論の場です。科学研究費による会議ですので　懇親会費2000円を御負担願います）

主催：医薬基盤・健康・栄養研究所、ロシア連邦国立研究医科大学小児放射線防護研究センター

後援：日本学術振興会二国間交流事業、ロシア連邦基礎研究基金、安田記念医学賞、アミノアップ化学奨励助成金

連絡先：〒567-0085　大阪府茨木市彩都あさぎ7-6-8　医薬基盤研究所 n5nomura@nibiohn.go.jp

Tel; 072-641-9845, 9853, FAX; 072-641-9854